

審議会等の会議の概要の記録

会議の名称	令和4年度 第2回甲州市図書館協議会
開催日時	令和4年12月1日(木) 13時30分～14時30分
開催場所	甲州市立勝沼図書館
議 題	<ul style="list-style-type: none"> (1) 令和4年度図書館活動について (2) 近年の貸出しの様子について (3) カムカムクラブの活動について (4) 勝沼図書館 記憶遺産活動について (5) ぶどうとワインの資料展について (6) その他
出席委員	丸山久美、佐藤多賀子、鈴木一江、廣瀬里奈、根岸喜久恵、原子徹也、山下由紀
会議の公開又は非公開の区分	公開
会議を一部公開又は非公開とした場合の理由	
傍聴人の数	0人
審議概要	別紙のとおり
事務局に係る事項	甲州市教育委員会 生涯学習課 図書館担当 TEL 0553-44-3746
その他	

令和4年度 第2回 甲州市図書館協議会 議事録

令和4年12月1日(木)

午後1時30分～

甲州市立勝沼図書館 視聴覚室

- 出席者 <<協議会>>丸山久美、佐藤多賀子、鈴木一江、廣瀬里奈、
根岸喜久恵、原子徹也、山下由紀(7名)
<<事務局>>小林教育長、飯島生涯学習課長、丹澤、古屋淑絵、
古屋美智留、鶴田(6名)
- 欠席者 <<協議会>>田邊康仁、広瀬真次、秋山美和(3名)
<<事務局>>前島(1名)

午後1時30分開会【進行：丹澤リーダー】

1 開会のことば 田邊康仁様、広瀬真次様、秋山美和様より欠席の連絡がありました。本日7名の委員の皆様のお出席ありがとうございますので、甲州市立図書館設置条例及び管理条例、第9条の2により過半数に達していますので本会の成立をご報告いたします。

2 教育長あいさつ(小林教育長)

お忙しい中、本日は第2回甲州市図書館協議会にご出席いただきありがとうございます。今日はぶどうとワインの資料展について説明や、資料展を見られるということでとても楽しみにしておりました。

峡東会という組織があり、そこから要望書をいただきましてその要望書の中に、「各校の図書室が読書センターや学習センターとして、また子どもたちの心の居場所としての機能が高められるように」といった文言があり、図書室の環境を改善についての要望をいただきました。図書館や図書室という場所は、子どもたちだけでなく市民の方々の色々なニーズに応じて、様々な機能を有していなければならないと改めて感じました。

その中で、昨日勝沼町のほうでICT端末を使つての授業を行っているのを見せていただきました。教科書もデジタル教科書を使用しており、クリックするだけで画面に教科書が映し出され、音声も流すことができます。今までは調べ学習の際は、図書室へ行って色々な本を読んで調べていましたが、今は端末で子どもたちが調べたいことを瞬時に調べることができる。先生たちも本を探してコピーをして拡大したものを子どもたちに見せていましたが、今は端末を

使って子どもたちに見せられる状況になってきました。そういった中で、図書室の役割が今までと一緒ではなく、違った役割を考えていかなければならないと感じました。

もう一つ紹介したい事例が、平成22年に産まれた子どもを対象に行っている追跡調査についてです。この子たちが小学校1年生の時コンピューターゲームを使って遊んでいる割合は46.6%だったのが、5年生の時には78.8%に増加していることが分かりました。年々コンピューターゲームをする時間も増えており、これは驚いたのですが、小学校6年生の時に学校で勉強する時間が年間で473時間なのですが、ゲームを1日2時間した場合年間で730時間にもなるそうです。学校で勉強する時間より、ゲームをしている時間のほうが多いことがデータで示されています。

こういったデータ社会の中、図書館や図書室の機能について改めて見直していくとともに、子どもだけでなく私たち大人も読書との関わり方、また図書館図書室との関わり方を考えていかなければならないと思いました。

この図書館協議会での協議が非常に大切だと思いますので、本日の会議についてもよろしくお願いします。

3 副会長あいさつ（丸山副会長）

みなさま改めましてこんにちは。

簡単にとおりましたが、教育長のお話を受け、なるほどと思ったところがありましたので、少しお話をさせていただきます。

デジタル化が進んだことで便利さが高まり、私たちもたくさんの恩恵を受けています。同時に不の部分もあるということを忘れてはいけないと思います。私の教員時代、授業では、分からないことがあったら図書室に行って調べなさい。辞書に聞きなさいと教えてきました。必要な資料は図書室の印刷したものを与えてきました。しかし、私も今わからないことがあったら、ネットで調べてしまいます。ネットで調べるということで辞書は埃をかぶっていますし、漢字は読めなくても書けない言葉があります。デメリットの大きさを感じます。

学校教育の中で感じていることは、生涯続く学習への心構えを育てることが大事ということです。デジタル、紙のそれぞれ役割が求められる中、図書館が市の情報センターとしての役割を担っていくこと期待しています。

それらを念頭に置きながら今日の会議を進めて頂きたいと思います。

4 議事 議長 丸山副会長：次第に基づいて進めていきたいと思います。

(1) 図書館活動について

塩山図書館 古屋淑絵

今まで行ってきた活動、これから行う予定の活動についてお話させていただきます。イベント関係のチラシを張ってありますので、あとで見ただければと思います。図書館としては子どもたちに実体験を大切にしてイベントを考えています。

塩山図書館では、「夕涼みおばけのおはなし会」を夏に開催しました。怖いお話しと甲州市民文化会館の館内にて肝試しを行いました。参加者は怖いけど楽しんでいる様子でした。

それから、秋に「パークライブラリー」を甘草屋敷子ども図書館で開催しました。子ども図書館前のお庭にテントやハンモックなどを設置し、ブースごとに親子で絵本を読んでもらうというイベントとなっております。こちらも毎年人気で、多くの利用者が参加していただきます。開催日前日は雨が降って天気が心配でしたが、当日は天気も良く無事開催できました。

そしてつい先日、「霜月むかし語りの会」として山梨むかしがたりの会のえんまるグループに語っていただきました。

子ども図書館では企画展を行っているのですが、実は甘草屋敷子ども図書館が今年開館20周年を迎えました。20周年記念としまして、絵本作家のいしかわこうじさんの企画展として「いしかわこうじ展」を開催しております。甲州市ではブックスタートとしていしかわこうじさんの絵本を、3カ月を迎える子どもたちに贈っております。いしかわこうじさんは精力的な方で、日本全国で公演やワークショップをされています。塩山図書館にも12月25日に来てくださり、ワークショップと読み聞かせなどのトークライブを行う予定です。トークライブは一般の方も参加可能ですので、ぜひお申し込みください。

勝沼図書館 鶴田

勝沼図書館では6月18日から7月3日まで、英訳絵本「やまなし Mountain Stream」の原画展を行いました。国語の授業の一環で祝小学校の児童をはじめ多くの方が訪れました。

夏休みのイベントとしまして、農林振興課とのコラボ企画として「マイライブラリーを作ろう」を行いました。木工芸館へ行き、木材を使った正方形の本棚を作り、図書館へ戻って自分の好きな本を本棚に入れて、1か月間展示を行いました。

また、毎年恒例のおばけ図書館はコロナ感染拡大の影響で日程の延期を行いました。多くの子どもたちが参加してくれました。当日の様子

は勝沼 CATV で番組として放送され、大きな反響がありました。

他にも勝沼図書館では、夏休み工作教室、映画会、読書感想文講座を行い、大和ではコワ楽お話&映画会を行いました。

秋には勝沼図書館最大のイベント、「カムカムフェスタ」を行いました。こちらはボランティアのティンカーベルさんのおはなし会をはじめ、様々なイベントを行いました。内容につきましてはお配りしたビブリオテークをご覧くださいと思います。

また、勝沼図書館と塩山図書館で共通でライブラリアン講座を行いました。こちらは全2回として、1回目は塩山図書館でカウンター体験を主に実施し、勝沼図書館ではブックコート体験を主に実施しました。こちらに参加してくれた子には終了証を発行しているのですが、この終了証を持ってきた場合、1回だけカウンターで貸出業務が行えるという特典があります。

今後は全館共通で、1月5日より新春恒例の福袋の貸出しを行います。司書が選んだ本の貸出しとかわいいおまけがセットになった人気の福袋です。また、勝沼図書館では1月7日と8日に子どもを対象とした新春映画会も行います。

副会長（議長）：事務局のみなさんご報告ありがとうございます。みなさんも声をかけて広めていただければと思います。

（2）近年の貸出しの様子

事務局：丹澤

お手元の資料をご覧ください。こちらは平成26年から令和3年までの貸出冊数をグラフ化させたものになります。新型コロナウイルスの影響で令和元年度から開館日数や来館者数、貸出し数が減少しました。

感染症対策として、入館する際は同意書に記載をしていただいておりますが、現在同意書はなくなり、検温とマスクの着用のみお願いしている状況となります。滞在時間も2時間から3時間になりましたが、開館時間は夕方5時までとさせていただきます。

副会長：コロナの影響で貸出し数などの減少がみられますが、この程度の減少ですんだのは司書の方々の努力があったからだと思います。

（3）カムカムクラブの活動について

事務局：古屋美智留

今年は多くの申し込みをいただき、定員は20名でしたが28名まで申し込みを受け付けました。人数をもっと多くすればいいのではとご意見をいただくのですが、カムカムクラブでは毎回アニマシオンを実施するので、そのアニマシオンで使用する本や消耗品を人数分用意する必要があるので、定員を決めて受付を行っています。今年はなんとか頑張って28名申し込みを受け付けました。また、博報賞でいただいた賞金の中で、カムカムクラブで使用する iPad を購入させていただきました。

生涯学習課の文化財担当から子どもたちと一緒に日本遺産の紹介をしてほしいと申し出がありましたので、この iPad を使用して子どもたちに撮影してもらいました。勝沼 CATV の方に来ていただいて撮影方法についてレクチャーを受け、文化財担当の方から構成文化財についての説明を受けて撮影に臨みました。今日は撮影風景と、半分まで出来上がった DVD を見ていただければと思います。前に出てくる子どもだけでなく、撮影をしている子ども、音声担当をしている子どもといった役割がありますので、その辺も念頭に入れてご覧になっていただければと思います。

～DVD 視聴～

こちら編集は勝沼 CATV にしていただきましたが、撮影、カンペ出し、音声ともに全て子どもたちが行ったものとなります。撮影当日2時間という短い時間の中で、各班に分かれて撮影を行ったのですが、セリフもしっかり覚えてきていて素晴らしかったです。たまに画面が揺れるのは子どもたちが撮影しているので、ご愛嬌としてぜひご容赦いただければと思います。

これが完成形ではなく、これから構成文化財自体が多くありますので、子どもたちの音声に文化財の写真を載せ、最後に学習をしたというところまで載せて、1本のDVDになる予定です。完成は3月の予定で、勝沼 CATV や図書館の館内での上映を検討していますので、ぜひまたご覧になっていただければと思います。

副会長：ありがとうございました。このDVDはどのように活用していく予定ですか。

事務局：こちらは甲州市内にある4館の図書館で保存し活用していきたいと思っています。館内で上映するのはもちろんですが、YouTubeなども活用して色んな方に見ていただければと思っています。この他にも、学校教育でも地域学習のきっかけになる教材になるのではないかと思います。

ています。

副会長：ありがとうございます。本当に素晴らしいものだと思います。担当の方々お疲れさまでした。

(4) 勝沼図書館 記憶遺産活動について

事務局：古屋美智留

こちら県が主体となって行っている事業で、ふるさと記憶遺産プロジェクトの方に勝沼図書館と市川三郷図書館が参加しています。

現状の報告をさせていただきますと、図書館から挙げた10名の方すべての取材が終わりました。取材の中で、子どもたちが関わるということで、カムカムクラブの子どもたちが何名か取材をさせていただきました。この成果物が3月に出てくるのですが、その際には取材記録、校正含め勝沼図書館の財産として保存していきたいと思います。

この取材をしてくださったのが、産経新聞の松田記者という方です。この記者が今から文章を作成してくれるのですが、こちらから文章に必要な資料や素材をお渡しして、一緒に作成し1冊の冊子が出来上がる予定です。この出来上がった冊子は、勝沼図書館と市川三郷図書館にしか置かず、読みたい方は各図書館へ行って読む形となります。

冊子が出来上がった際には、県の方で大々的な広報を行うということで、1月には県内図書館を対象にこのプロジェクトについての講演会が開かれる予定となっています。

副会長：出来上がった冊子を勝沼図書館と市川三郷図書館の2館にしか置かない理由はなんですか。

事務局：県の仕様書なのですが、その現場といいますか、その図書館に行かないと見るできない、読めない、という特別感を出したいということです。

副会長：なるほど。ありがとうございました。

(5) ぶどうとワインの資料展について

事務局：古屋美智留

今年で25回目になるのですが、同じタイトルで続けている資料展は全国を見てもありません。また、その時代やニーズに合わせて取材対象や

展示物を考えています。

一番最初に始めた時は、どういった形でやるべきか、どういった形で魅せていけばよいか。そのようなところからスタートしたそうです。長年続けていく中で平成21年の資料展では「土から見る地域の特性」というテーマで資料展を行いました。このテーマでは、ぶどう畑の土や畑のある場所の高低差によっても味が変わってくるということで、菱山地区や東雲地区等の畑の土を実際に採取して、資料と一緒に展示しました。

平成30年にはジョージアのオレンジワインがとても流行したため、ワインの起源である国ジョージアを取材対象として、ジョージア大使館等に取材に行き資料展を行いました。

今年は高野正誠さんにスポットをあてて資料展を行いました。この高野正誠さんと土屋龍憲さんがこの日本に本格ワインを持ち込んだ2人と言われています。「誠は成るなり 高野正誠 生誕170年 だれかの一步は未来の一步」ということで、高野家に取材をさせていただいて、高野正誠さんの歩みを資料展として行いました。貴重な資料なども展示していますので、ぜひご覧になってください。こういった形で資料展を行っていることもあり、ライブラリーオブザイヤーを受賞できたと思います。

(6) その他

特になし

5 閉会のことば

佐藤委員：本日図書館の活動について色々知ることができました。IT化が進む中で、書籍と電子機器の良いところのすり合わせを、大変だと思いますが図書館の方で地域との連携を交えながら模索していただければと思います。以上をもちまして令和4年度第2回甲州市図書館協議会を閉会いたします。お疲れさまでした。

会議 午後2時30分閉会